

町民の皆様の協力により実現しました！

錦江町ホームステイ & 田舎体験

熊本地震 被災地親子向け

熊本地震で被災された方にも早く心安らかな日々を取り戻してほしいと、町の持つ豊かで美しい自然環境と、義理堅く心温かな住民の皆様のお力を借りし、親子で町内に1泊2日で滞在するプログラムを2回行いました。体験メニューや宿泊は「少しでも被災地の力になれば」という皆様の無償協力により実現いたしました。

第1回目が8月6日～7日、第2回目が8月27日～28日に行われ、第3回目は9月3日～4日を予定しておりましたが、台風接近のため、やむなく延期となりました。

広報誌6月号でのホームステイ受入れや体験活動提供の呼びかけに多くの町民の皆様が応えてくださいました。

協力者の皆様は、さまざまな準備や工夫をしながら当日の受け入れを行ってくださいました。その模様をお伝えいたします。

手作りの昼食提供

8月6日(土)の昼食は、ふれあいいきいきサロンの「橋の口かたろう会」と「中村ひまわり会」の8名の方が昼食を作ってくださいました。

打ち合わせの段階から「子



プールでのカヌー体験

ども達はカヌーが好きだろうか？「田代の田舎料理も食べてほしいな」と一つ一つ考えながらメニューも考えていただきました。

田代保健福祉センターで朝の9時から準備を開始し、材料は米や野菜、家の庭でとれたブドウなどを持ち寄ってカレーやぜんまいの煮しめ、ゴーヤの漬物、ブルーベリーのゼリーなどの料理を準備してくださいました。

食事の前には、中原 照幸さんが鹿児島弁でユーモアを交えた歓迎のあいさつを行い、参加者の笑いを誘っていました。

食事中も自己紹介しながら団らんし、子ども達も残さずきれいに食べていました。

手書きのボードも使った花瀬散策

8月6日(土)の午後は中原照幸さんの案内で花瀬地区の散策をしました。

事前にコースの下見を行い、どの程度時間がかかるか確認していた中原さんは自作の行程表に合わせながら、雄川の滝や扇落としての滝、花瀬川を案内してくださいました。手書きで厚紙に描いた花瀬川の説明に参加者は興味深そうに耳を傾けたり質問をしていました。

案内が終わるころには、子ども達も中原さんの後をついて歩くなど、打ち解けた様子でした。



雄川展望所での案内の様子

◎ご協力いただいた皆様(敬称略)
※協力いただいた日付順にご紹介いたします。
※()内は自治会名です。

第1回目(8月6日～7日)

《花瀬名所めぐり》

中原 照幸 (橋之口)

《1日目昼食提供》

・橋之口語ろう会

篠原 ナリ子 (橋之口)

小牧 まさ子 (東京都)

中原 節子 (橋之口)

右田 佐登子 (橋之口)

・中村ひまわり会

倉元 絹代 (中村)

水流 勝子 (鶴園)

鶴田 ヨリ子 (中村)

宮園 喜美子 (中村)

《ホームステイ受入れ家庭》

加藤 邦雄 (塩屋)

木場 弘道 (塩屋)

松元 辰朗 (塩屋)

遊喜 光範 (瀬戸山)

楠元 忠洋 (鶴戸野)

《カヌー体験指導》

木場 一昭 (鳥浜)

第2回目(8月27日～28日)

《ホームステイ受入れ家庭》

厚ヶ瀬 博文 (厚ヶ瀬)

第3回目(9月3日～4日)

※延期になりましたが、ご協力の申し出をいただいた方を掲載させていただきます。